

【評価実施概要】

事業所番号	17040119		
法人名	株式会社 柏菱		
事業所名	グループホームエルムの家		
所在地	〒063 - 0865札幌市西区八軒5条東2丁目4 - 16 011 - 366 - 2633		
評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	〒060 - 0061 札幌市中央区南1条西5丁目7、愛生館ビル601B		
訪問調査日	平成20年12月10日	評価確定日	平成20年12月26日

【情報提供票より】(H20年11月15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 8 月 15日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	25 人	常勤18人、非常勤7人、常勤換算(4.5)	

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り		
	3階建ての1~3 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷 金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	350 円
	夕食	500 円	おやつ	50 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概 11月15日現在

利用者人数	27 名	男性	4 名	女性	23 名	
要介護1	10名	要介護2	5名			
要介護3	5名	要介護4	5名			
要介護5	1名	要支援2	1名			
年齢	平均	81.5 歳	最低	45 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	クリニックもりや、八軒循環器病院、札幌宮の澤病院
---------	--------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームはJR八軒駅から徒歩5分JR琴似駅7、8分の交通至便な商店と住宅街の混交地域で、生活の利便性が高い場所にある。近くに農試公園があり、敷地には畑・花壇など楽しめる場もある。鉄骨3階建て、トイレ、浴室、居間、居室の相互関係は介護がしやすい機能性があり、2.3階はベランダから避難できる装置設備がある。職員は訓練されて、やや年配者が多く、安定感があり、利用者・家族に信頼を得ている。開設以来地域とのつながり、利用者家族との連携もよく相互に支援関係を保っている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回には特に改善を求める指摘はない。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員は業務に関する意欲が高く、困難ケースの解決事例など着実な実績のもとに、各エッセ毎に職員の参加でまとめている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	社の都合で開催の遅れを取っているが、運営推進会議の構成は地域市民福祉関係者、地域包括支援センター、家族、利用者の参加があり、意見を運営に活かしている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	意見箱の設置、運営推進会議に家族・利用者の参加、毎月の連絡交換と意見の聴取に努めるなど、家族の訪問時の説明への配慮を含め利用者本位の対応をしている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	開設以来、地域の事情を考慮して、日ごろの散歩での支援、近隣商店等との買い物での付き合い、町内会など地域福祉関係者との連絡や支援関係を深めつつある。

評価結果(詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	創設以来、地域にあるホームとしての、利用者本位の実践理念を作り上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は実践理念を体得して、利用者に対応している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域とのかかわりは町内会・商店街を含め、利用者の馴染みある地域となるよう努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者をはじめとして、職員は自己評価や外部評価に理解があり、日頃の成果を評価に現し、改善に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>今年度は止むを得ない事情で開催が遅れているが、運営推進会議の趣旨に基づいて地域の支援関係、関係者との連携を図り、利用者本位な運営に活かしている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市主催、西区管理者会議への参加・区グループホーム連絡会議での札幌市の行政連絡を受けながら運営に活かしている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月の担当職員から心身・生活の近況報告を行事の写真・手紙などで送り、留意すべき時や緊急時には電話で報告・相談している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族との連絡・訪問時での面対的対応に配慮するとともに、不満、苦情、要望をカンファレンス会議に職員に周知し、検討して、利用者の意向を的確に把握できるよう努めている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の移動（異動）には細心の留意をしている。移動は少ない。日頃から職員の間との交流を図り、異動の必然性に応えるなど、利用者への配慮をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修の機会には職員の多くが利用できる配慮をしている。資格取得者には昇給の機会がある。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他事業者との交流に機会を設けて、サービスの向上に努めている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>事前に利用者宅の訪問や介護経緯の理解に努めて、家庭との間の連携ある経験交流を図るなど、困難ケースに辛抱強く対応して、ホームへの馴染みまでに工夫を重ねている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者の自尊心・誇り・経験・価値観を大切に、思いを現実にあわせることが出来るように、個々の得意分野を理解し、利用者の立場に立ち、経験に学ぶ支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>家族からも本人の経験・活動歴を聴取するなど、日常生活の雰囲気大切にしたい思いや好みを理解して、これに合うよう介護に努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>毎月のケアカンファレンスで個々の情報を共有し、介護計画者等それぞれの職員が役割を担って、漏れなく、互いに周知を重ねて計画の実践と、経過観察を重ねている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定例的な見直し以前に心身の事情に変更が生じたときは、家族等に連絡、理解と承諾の上で、妥当な介護計画を作成している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>行事、宿泊など利用者とともに過ごすためのサービス、通院・送迎のサービスなど多様な支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医は月2回の往診があり、ホームに看護師を配置して内部対応に留意して、健康管理や医療活用に活かしている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>家族との終末期に向けた承諾のもとに、職員間で情報を共有し、医療機関との連携をはかりホームでの終末対応を経験してきた。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者の個別性・誇りを大切にした言葉使い、表情への配慮、個別情報のイニシャル記録や管理を徹底している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>職員は利用者本位のサービスを基本に、本人の生活のペースやリズムに応じた畑仕事・塗り絵・パズル・体操・趣味などの支援を徹底している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	医師と相談の上健康状態に応じたメニューに留意した調理を工夫している。利用者には個々の力に応じた食前食後の役割りや食事に係わる話しかけなどをして、楽しい食事となる工夫をしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴を好まない利用者への対応に工夫を重ねながら、利用者の最も好む時間やときに応じた臨機応変な支援をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個々の残された力を大切にして、思いに応じ、菜園の種植え、収穫までの支援など、利用者の生活経験などを大切に趣味や気晴らしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の体調に合わせながら近隣の公園、商店街への買い物、畑仕事など季節に応じた試みなど、近隣との支えも大切に工夫を重ねている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間の防犯を除いて施錠はしていない。職員の配慮とともに、町内会や家族の協力が支えとなっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>防災についての社内講習訓練のほか、年2回の避難訓練、さらに運営推進会議などでの地域の協力などが進められている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>日々の水分補給量・塩分・糖分総量などをバイタルチェック表に併記するとともに、個々の栄養のバランスを考慮するなど、日々の利用者の健康管理に活かされている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>各ユニットの居間・廊下・浴室・トイレ・居室の利用関係が介護しやすい機能的な環境にあり、適切に配置され、各階のベランダは空間に余裕がある。採光・温度・湿度管理もよく、居心地のよさが感じられる。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>個々の利用者の好みや家族の配慮がベッドの型や置物の配置となり、居室を使いやすく、生活しやすい環境としている。</p>		

 は、重点項目。